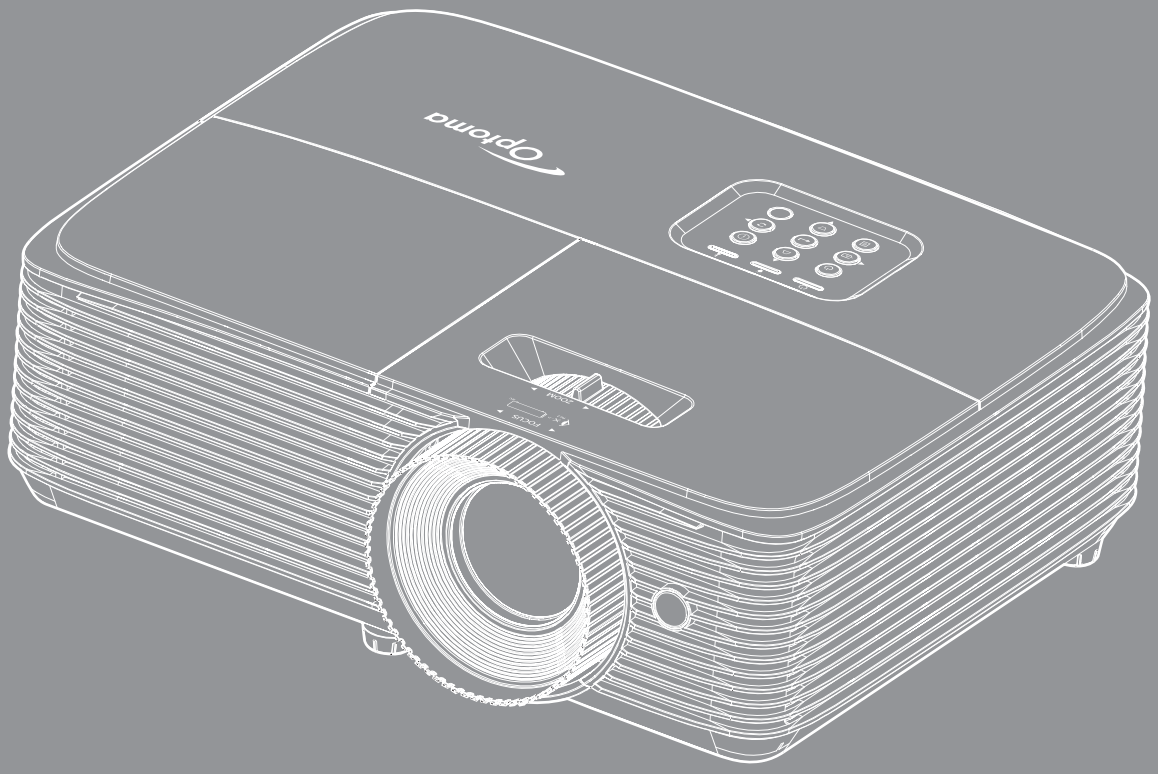
DLP® プロジェクター

ＨＤ２７ｅ

取扱説明書（保証書付）



MHL HDMI™ HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE DLP® TEXAS INSTRUMENTS

目次

安全 4

安全に関するご注意 4
3D 安全情報 5
著作権 6
免責条項 6
商標認識 6
FCC 7
EU諸国への適合宣言 7
WEEE 7

はじめに 8

パッケージの概要 8
標準アクセサリ 8
オプションのアクセサリ 8
製品の各部名称 9
接続 10
キーパッド 11
リモコン 12

設定と設置 13

プロジェクターを設置する 13
ソースをプロジェクターに接続する 15
投射画像の調整 16

プロジェクターを使用する 19

プロジェクターの電源を入れる/切る 19
入力ソースを選択する 20
メニューナビゲーションと機能 21
OSD メニューツリー 22
表示画像設定メニュー 29
ディスプレーの強化されたゲームメニュー 30
ディスプレーの 3D メニュー 31
アスペクト比メニューの表示 32
表示エッジマスクメニュー 33
表示ズームメニュー 33
表示画像シフトメニュー 33
表示キーストンメニュー 33
オーディオミュートメニュー 34
オーディオボリュームメニュー 34
投影設定メニュー 34
ランプ設定メニュー 34
フィルター設定メニュー 34
電源設定メニュー 35

セキュリティ設定メニュー *36*
HDMI Link 設定メニューの設定 *36*
テストパターンメニューの設定 *37*
リモート設定メニュー *37*
12V トリガーメニューの設定 *37*
オプション設定メニュー *37*
リセットメニューの設定 *38*
情報メニュー *39*

保守管理 40

ランプの交換 *40*

追加情報 43

対応解像度 *43*
イメージサイズと投射距離 *44*
プロジェクターの寸法と天井取り付け *45*
IR リモートコード *46*
トラブルシューティング *48*
警告インジケータ *50*
仕様 *52*
Optoma 社グローバルオフィス *53*

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全に関するご注意



- 光線を目に入れないでください (RG2)。
  あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 5°C～40°C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii) 相対湿度は10%～85%の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用中、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。

- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。*40 ～ 41* ページに記載されている指示に従ってください。.
- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の「設定 ｜ ランプ設定」メニューにある「ランプリセット」機能をリセットします。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも90秒間、放熱させてください。
- ランプの寿命が近づくと、「ランプの寿命が過ぎています。」というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記: *ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。「ランプの交換」(40-41 ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。*

- *振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。*
- *レンズを素手で触らないでください。*
- *保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。*
- *石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。*

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3D機能のご使用はお控えください。

- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4)眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5)混乱状態、(6)吐き気、(7) 意識喪失、(8)痙攣、(9)急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D投射の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低30分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投射を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3D投射の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D投射の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D投射の鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための3D眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、資力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D投射の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に3Dプロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2017

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

DARBEE は、Darbee Products, Inc. の商標です。

MHL (Mobile High-Definition Link) および MHL ロゴは、MHL Licensing, LLC の商標または登録商標です。

FCC

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください:

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCCパート15に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

当Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

はじめに

パッケージの概要

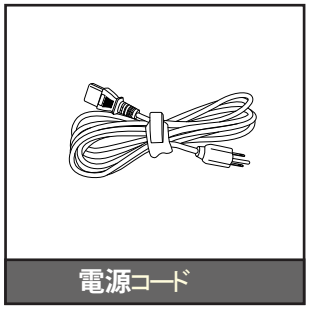
慎重に箱から取り出し、下の「標準付属品」に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

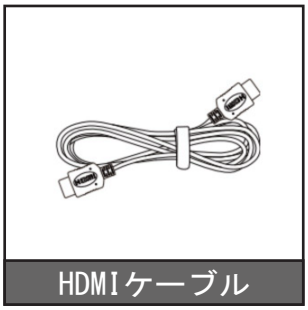
保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

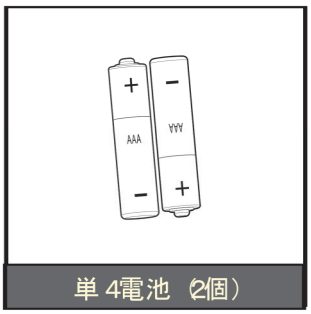
標準アクセサリ


プロジェクター


リモコン


電源コード

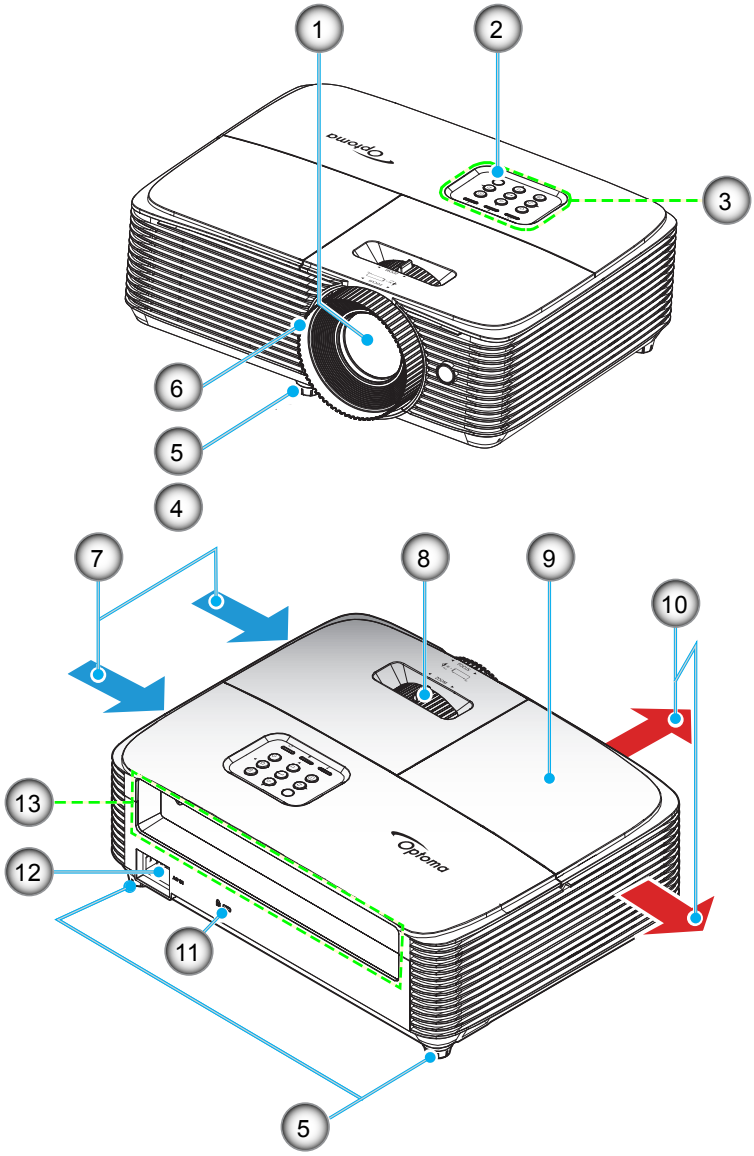

HDMI ケーブル


単 4電池 (2個)


取扱説明書

はじめに

製品の各部名称

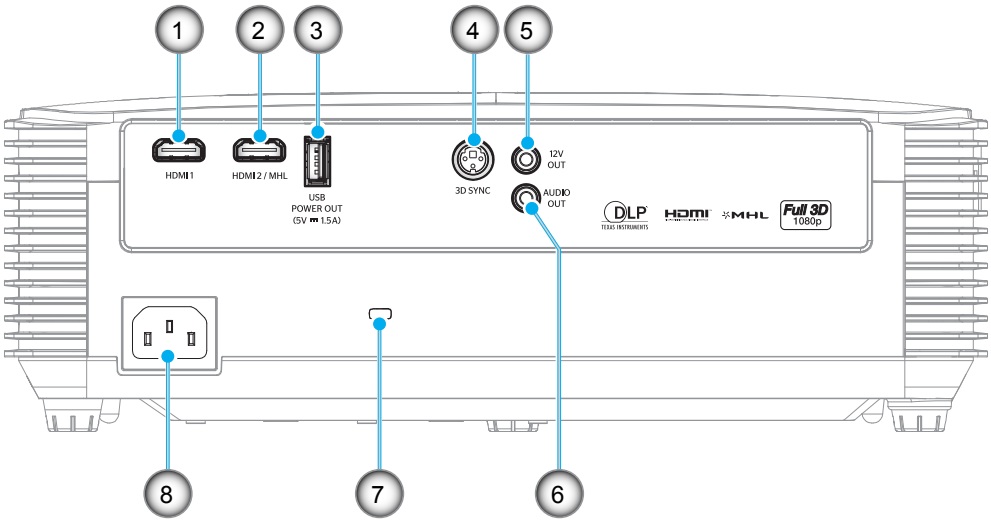


注記: *「吸気口」ラベルと「排気口」ラベルの間を少なくとも 30 cm 空けてください。*

番号	アイテム	番号	アイテム
1.	レンズ	8.	ズームレバー
2.	IRレシーバー設定	9.	ランプカバー
3.	キーパッド	10.	換気（排気口）
4.	なし(日本仕様なし)	11.	Kensington™ ロック ポート
5.	チルト調整フット	12.	電源ソケット
6.	フォーカス リング	13.	入/出力
7.	換気（吸気口）		

はじめに

接続

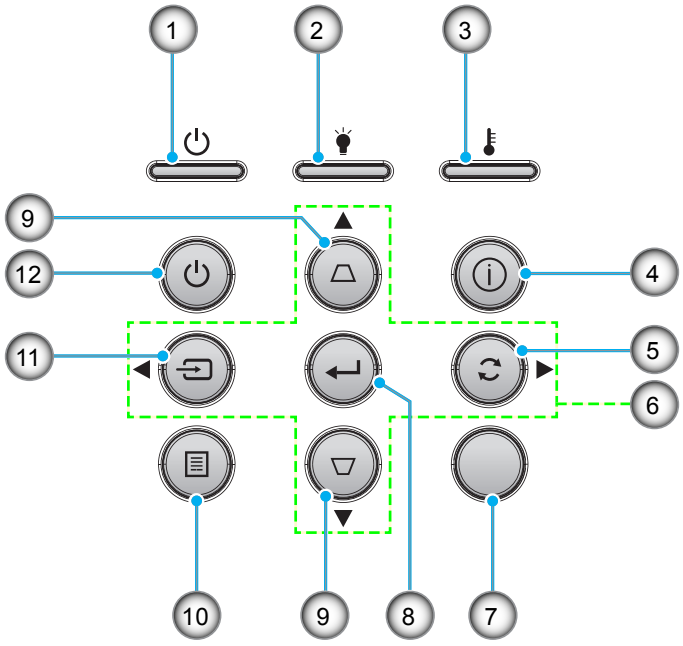


番号	アイテム	番号	アイテム
1.	HDMI 入力端子	5.	12V 出力端子
2.	HDMI 2/MHL コネクタ	6.	AUDIO OUT コネクター
3.	USB 出力 (5V 1A) コネクタ/マウス/サービス用コネクタ	7.	Kensington™ ロック ポート
4.	3D 同期出力コネクタ	8.	電源ソケット

注記: *リモートマウスには特別なリモコンが必要です。*

はじめに

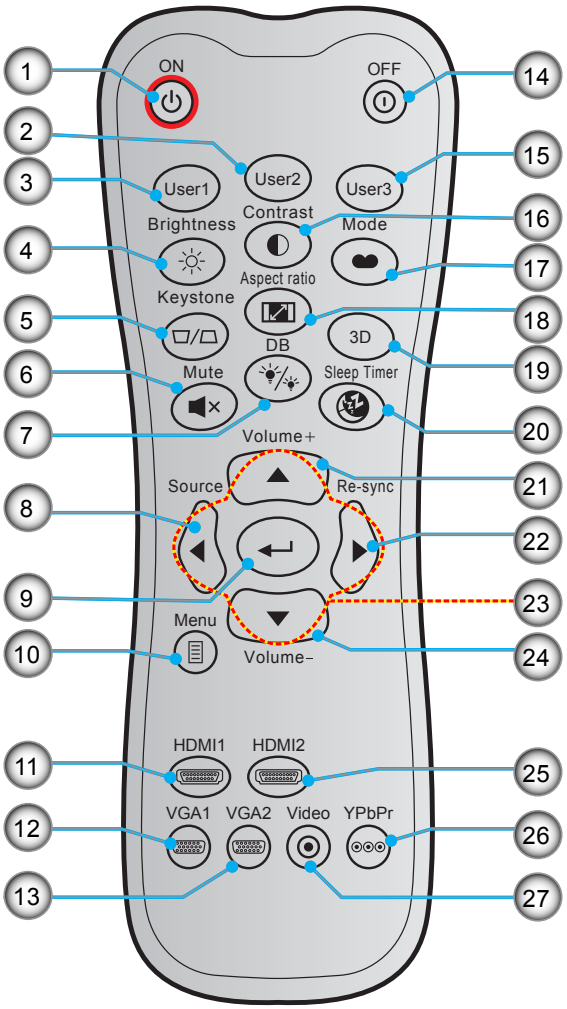
キーパッド



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	オン/スタンバイ LED	7.	IRレシーバー設定
2.	ランプ インジケータ LED	8.	エンター
3.	温度インジケータ LED	9.	キーストン補正
4.	情報	10.	メニュー
5.	再同期	11.	入力ソース
6.	4 方向選択キー	12.	電源

はじめに

リモコン



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	電源オン	15.	ユーザー 3
2.	ユーザー 2	16.	コントラスト
3.	ユーザー 1	17.	ディスプレーモード
4.	輝度	18.	アスペクト比
5.	キーストン	19.	3D メニューオン/オフ
6.	ミュート	20.	スリープタイマー
7.	DB (Dynamic Black)	21.	音量 +
8.	ソース	22.	再同期
9.	エンター	23.	4 方向選択キー
10.	メニュー	24.	音量 -
11.	HDMI1	25.	HDMI2
12.	VGA1（未サポート）	26.	YPbPr（未サポート）
13.	VGA2（未サポート）	27.	Video（未サポート）
14.	電源オフ		

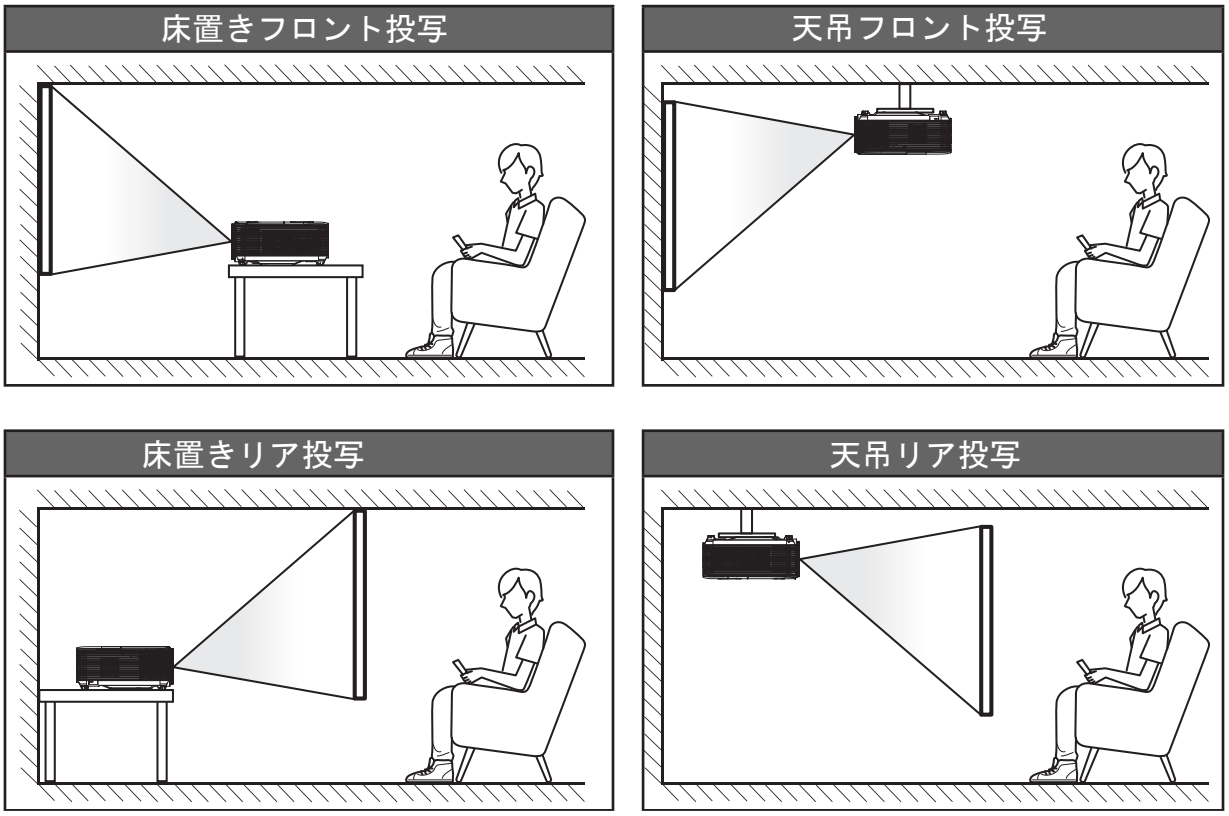
注記: *キーによっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。*

設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して垂直にしてください。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*44* ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*44* ページの距離表を参照してください。

注記: *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

重要!

*机上または天井取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクターランプまたはプロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、**コンタクトセンター**にお問合せください。*

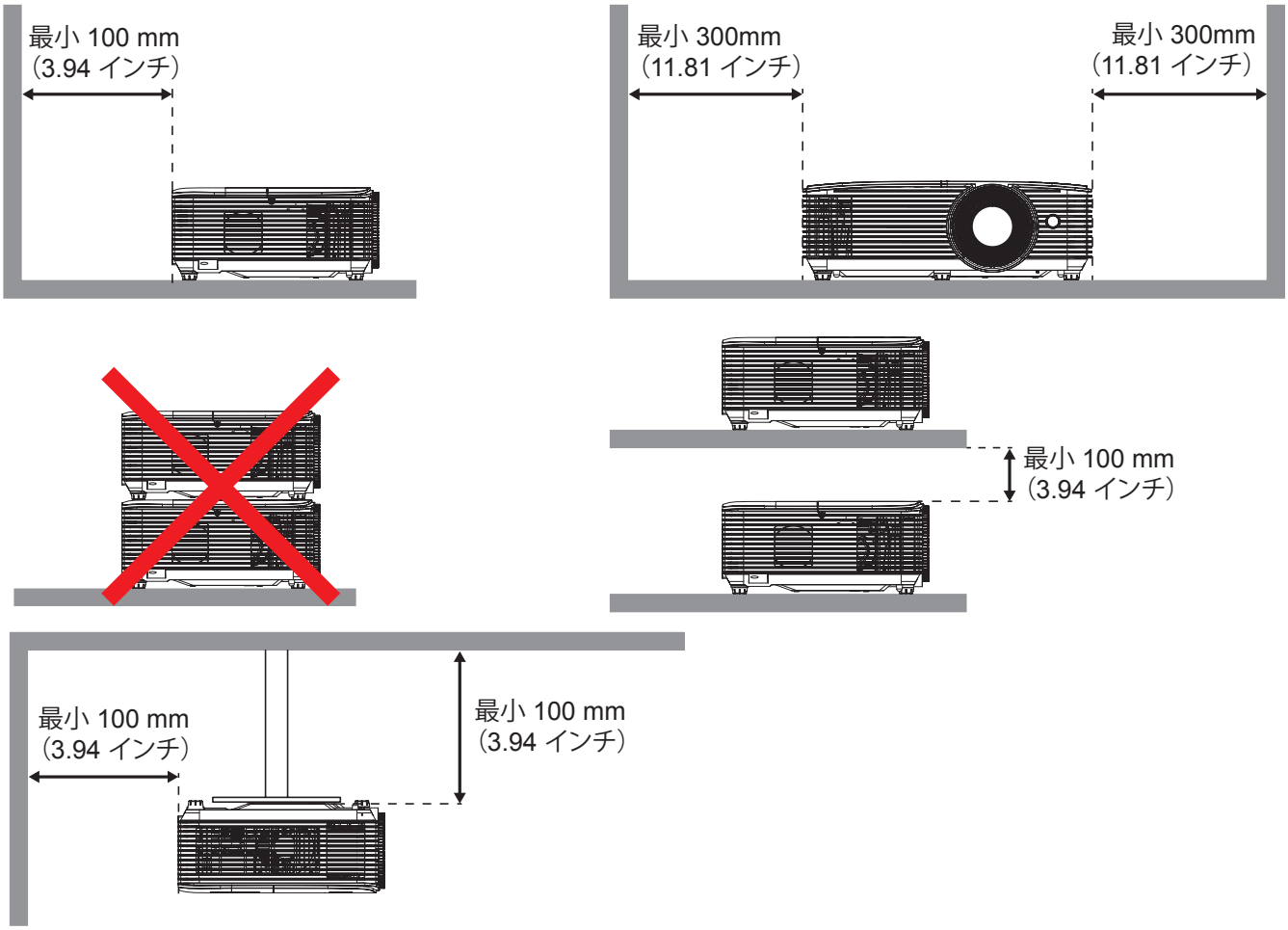
設定と設置

プロジェクターの取り付けに関する注意

- 水平位置にプロジェクターを配置します。
  プロジェクターの傾斜角度が 15 度を超えないようにしてください。また、机上および天井設置以外の方法でプロジェクターを取り付けないでください。そうしないと、ランプの寿命が劇的に減少し、その他の**予期せぬ**故障につながる恐れがあります。



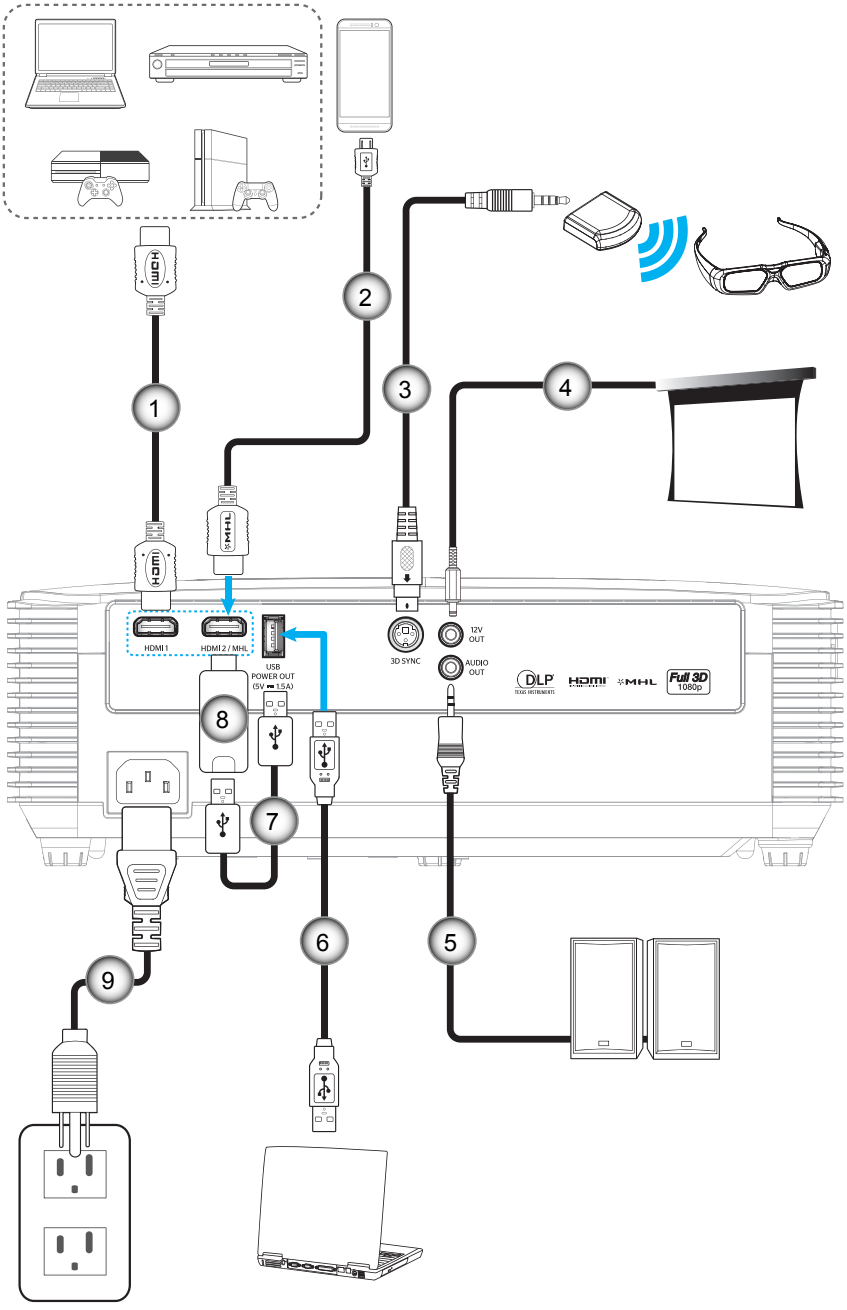
- 排気口の周囲に 30 cm 以上のスペースを確保してください。



- 排気口から出る熱い空気が吸気口から取り込まれないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、エンクロージャ内の周囲空気温度が動作温度を超えないようにしてください。また、プロジェクターの稼働中に吸気口と排気口に障害物がないことを確認してください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性がありますので、すべてのエンクロージャは、プロジェクターが排気を取り込まないように、認定された熱評価に合格する必要があります。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	HDMI ケーブル	6.	USB ケーブル
2.	HDMI/MHL ケーブル	7.	USB 電源ケーブル
3.	3D エミッターケーブル	8.	HDMI ドングル
4.	12V DCジャック	9.	電源コード
5.	オーディオ出力ケーブル		

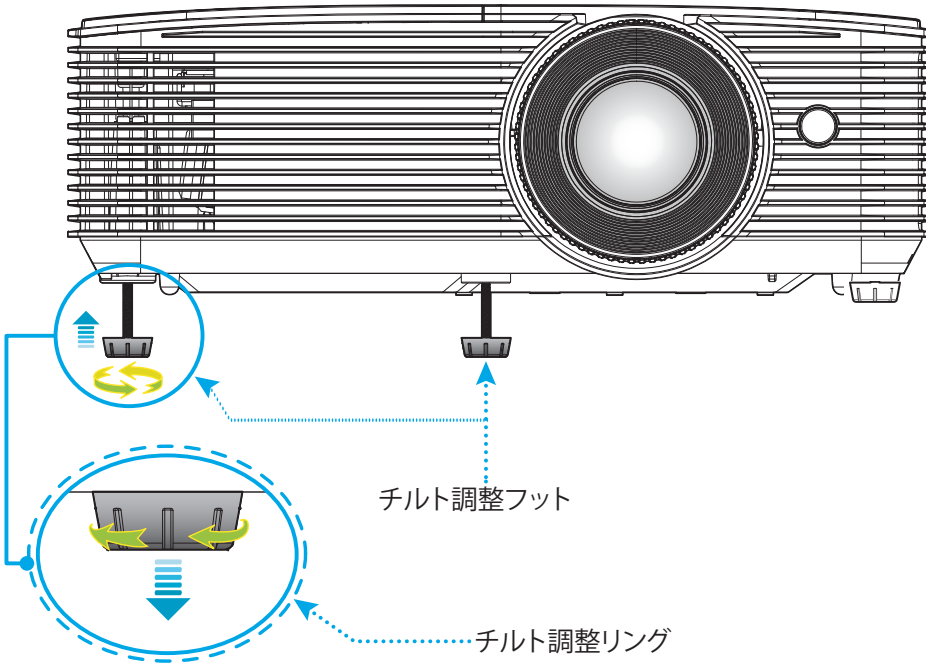
設定と設置

投射画像の調整

画像の高さ

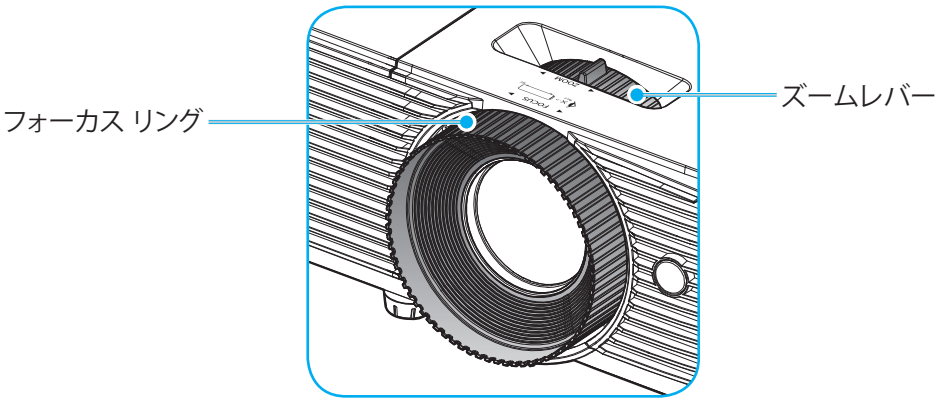
本プロジェクターには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整可能な脚を時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



ズームとフォーカス

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の大きくまたは小さくします。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



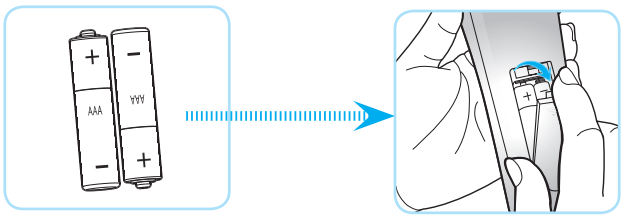
注記: *このプロジェクターは 1m ～ 10m の距離でピントを合わせることができます。*

設定と設置

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注記: *交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。*

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

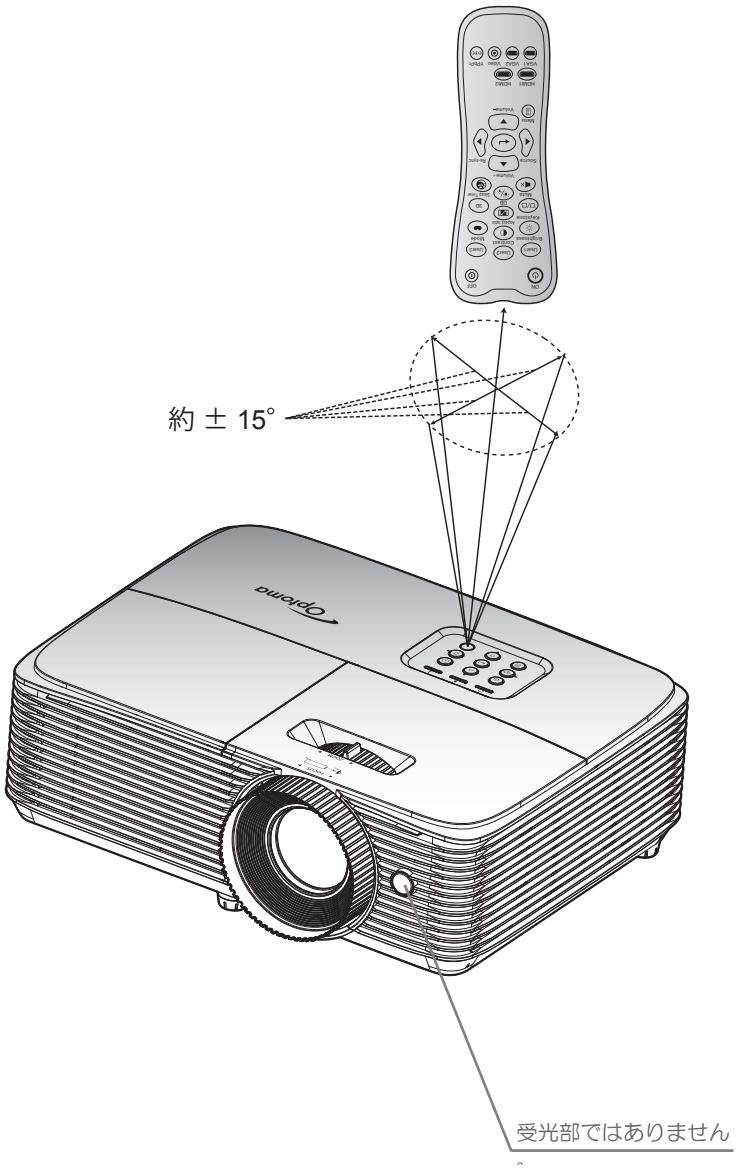
設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの上面にあります。プロジェクターの上面の IR リモコンセンサーに対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 6 メートル (20 フィート) 以内にする必要があります。

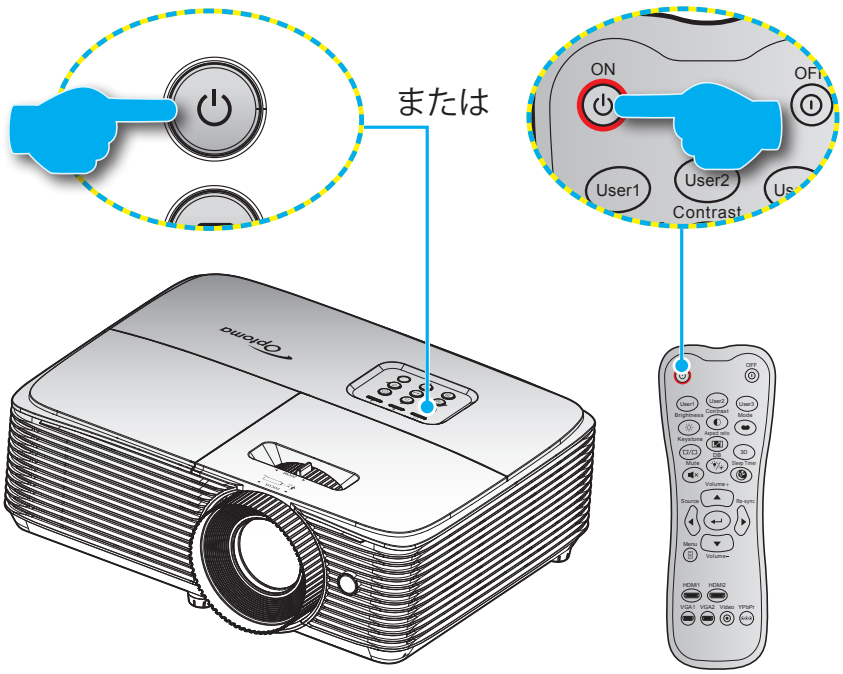
注記: *IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、8 メートル (26 フィート) を超えないようにしてください。*

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 6 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



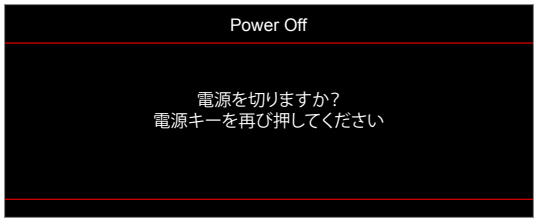
パワーオン

1. 電源コードとシグナル/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「⏻」を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が緑色または青色に点滅します。

注記: *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向、その他の設定を選択するように求められます。*

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「⏻」を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



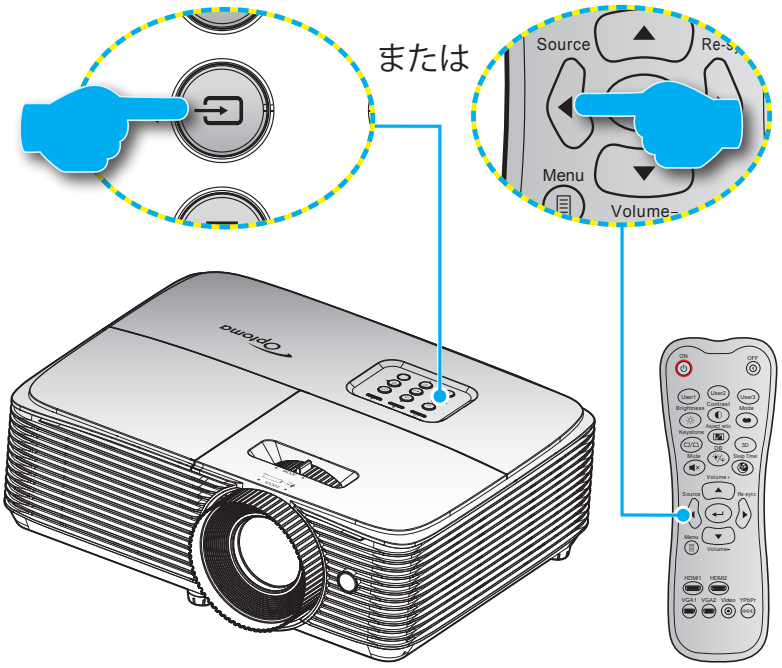
3. 「⏻」ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に「⏻」ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンが約 10 秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイ LED が緑色または青色に点滅します。オン/スタンバイ LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、「⏻」ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記: *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース（コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど）の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンのソースボタンを押し、入力ソースを選択します。

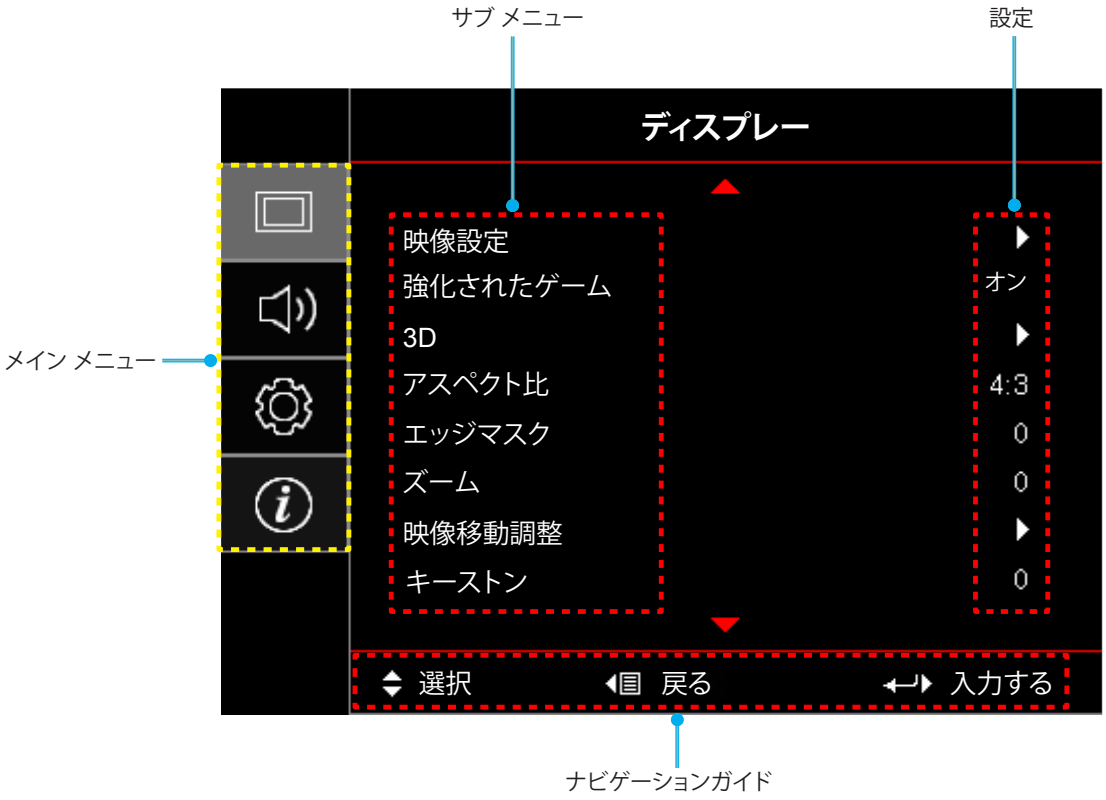


プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの「 ☰ 」ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、▲▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、「↵」または「▶」キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ◀▶ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、「↵」あるいは「▶」キーを押して詳細設定を表示します。◀▶ キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「↵」または「▶」を押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [◀] または [☰] を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	ディスプレーモード	[ビデオ]		シネマ
					Vivid
					ゲーム
					リファレンス
					ブライト
					ユーザー
					3D
		壁色補正			オフ [デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
		輝度			-50~50
		コントラスト			-50~50
		シャープネス			1~15
		色の濃さ			（未設定）
		色あい			（未設定）
		ガンマ			フィルム
					ビデオ
					グラフィック
					標準(2.2)
					1.8
					2.0
					2.4
		色設定	BrilliantColor™		1~10
			色温度	[ビデオモード]	Warm
					標準
					クール
					Cold
			カラーマッチング	色の濃さ	赤 [[デフォルト]
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
					白

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	色設定	カラーマッチング	色あい	-50～50 [デフォルト: 0]
				彩度	-50～50 [デフォルト: 0]
				ゲイン	-50～50 [デフォルト: 0]
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50~50
				緑ゲイン	-50~50
				青ゲイン	-50~50
				赤バイアス	-50~50
				緑バイアス	-50~50
				青バイアス	-50~50
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			カラースペース [HDMI 入力]		自動 [デフォルト]
					RGB (0-255)
					RGB (16-235)
					YUV
		DynamicBlack			オフ
					オン
		ブライトネスモード [DynamicBlack オフ時]			ブライト
					エコ
		リセット			
	Enhanced Gaming （オンの時、アスペクト比/エッジマスク/ズーム/キーストンが使用できない。）				オフ [デフォルト]
					オン
	3D	3Dモード			オフ
					DLP–Link [デフォルト]
					VESA
		3D->2D			3D [デフォルト]
					L
					R
		3D映像フォーマット			自動[デフォルト]
					Side By Side
					Top and Bottom
					Flame Sequential
		3D同期反転			オン
					オフ[デフォルト]

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	アスペクト比				自動
					4:3
					16:9
					LBX
					Native
	エッジマスク				0 ～ 10 [デフォルト: 0]
	ズーム				-5～25 [デフォルト: 0]
	映像移動調整	 映像水平位置			-50～50 [デフォルト: 0]
		 映像垂直位置			-50～50 [デフォルト: 0]
	キーストン				-40 ～ 40 [デフォルト: 0]
オーディオ	ミュート				オフ [デフォルト]
					オン
	音量				0～10 [デフォルト: 5]
設定	設置モード				フロント  [デフォルト]
					リア 
					天井 - 上部 
					リア - 上部 
	ランプ設定	ランプ警告			オフ
					オン [デフォルト]
		ランプリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	フィルター設定	エアフィルター 使用時間			(読み取り専用)
		エアフィルター取付			はい
					いいえ
		エアフィルター寿命			オフ
					300時間
					500時間 [デフォルト]
					800時間
					1000時間
		エアフィルター使用 時間リセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	電源設定	電源検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		信号検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		タイマー電源オートパワーオフ			0 ～ 180 (5 分の増分) [デフォルト: 20]
		スリープタイマー (分)			0 ～ 990 (30 分の増分) [デフォルト: 0]
			常にON		いいえ [デフォルト]
					はい

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	電源設定	クイックレジューム			オフ [デフォルト]
					オン
		USB給電			オフ
					オン
					自動 [デフォルト]
	セキュリティ	セキュリティ			オフ
					オン
		セキュリティタイマー			月
					日
					時
		パスワード変更			
	HDMI Link設定	HDMI Link			オフ
					オン
		モニター連動			いいえ
					はい
		電源オン設定			双方向設定
					プロジェクター->機器
					機器->プロジェクター
		電源オフ設定			オフ
					オン
	テストパターン				緑のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白のグリッド
					白
					オフ
	リモコン設定 [リモコンによる]	リモコン受光設定			オン
					オフ
		ユーザー1			HDMI 2 [デフォルト]
					テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					ズーム
					フリーズ
					MHL

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	リモコン設定	ユーザー2			HDMI 2
					テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					ズーム
					フリーズ
					MHL [デフォルト]
		ユーザー3			HDMI 2
					テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー [デフォルト]
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					ズーム
					フリーズ
					MHL
	12Vトリガ				オフ
					オン
	オプション	言語			English [デフォルト]
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					Polski
					Nederlands
					Svenska
					Norsk/Dansk
					Suomi
					ελληνικά
					繁體中文
					简体中文
					日本語

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	オプション	言語			**한국어**
					Русский
					Magyar
					Čeština
					عـربي
					ไทย
					Türkçe
					فارســی
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Română
					Slovenčina
		メニュー設定	メニュー位置		左上 
					右上 
					中央  [デフォルト]
					左下 
					右下 
			メニュータイマー		オフ
					5 秒
					10 秒 [デフォルト]
		オートソース			オフ [デフォルト]
					オン
		入力ソース			HDMI1
					HDMI 2/MHL
		入力名	HDMI1		デフォルト [デフォルト]
					カスタム
			HDMI 2/MHL		デフォルト [デフォルト]
					カスタム
		高地モード			オフ [デフォルト]
					オン
		ディスプレーモードロック			オフ [デフォルト]
					オン
		キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン
		信号表示			オフ [デフォルト]
					オン
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]
					ロゴ無し

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	オプション	背景色			なし [デフォルト]
					青
					赤
					緑
					グレー
					ロゴ
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
		初期状態にリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
情報	制御				
	シリアル番号				
	入力源				
	解像度				00x00
	リフレッシュ レート				0.00Hz
	ディスプレーモード				
	ランプ使用時間	ブライト			0 hr
		エコ			0 hr
		ダイナミック			0 hr
		合計			
	フィルター時間				
	ブライトネスモード				
	FW バージョン	システム			
		MCU			

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー

表示画像設定メニュー

ディスプレーモード(ビデオモード)

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ**: 映画を見るために最適な色を提供します。
- **Vivid**: このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。ゲームプレー用にこのモードを選択してください。
- **ゲーム**: ビデオゲームを楽しむために、このモードを選択して、明るさを増やし、応答時間レベルを上げます。
- **リファレンス**: 高解像度テレビ (HDTV) の標準である Rec.709 に近い、精度が最も高く、自然に見える色を提供します。
- **ブライト**: PC入力に対する最大輝度。
- **ユーザー**: ユーザー設定を保存します。
- **3D**: 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。ご使用の PC/ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。
- **ISF昼**: 画像を完ぺきに較正できるようにISF昼モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF夜**: 画像を完ぺきに較正できるようにISF夜モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF 3D**: 画像を完ぺきに較正できるように ISF 3D モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。

注記: *ISF 日中/夜間表示モードの調整方法については、お近くの販売店にお問い合わせください。*

壁色補正

この機能を利用し、壁の色に合わせてスクリーンイメージを最適化します。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

γ カーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、γ 調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**: ホーム シアター用。
- **ビデオ**: ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック**: PC/フォトソース用。
- **標準(2.2)**: 標準化された設定用。
- **1.8/ 2.0/ 2.4**: 特定の PC/フォトソース用。

プロジェクターを使用する

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™**: 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の、鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度（ビデオモード）**: Warm、Standard、Cool、またはColdから色温度を選択します。
- **カラーマッチング**: 次のオプションを選択します:
  - 色の濃さ: 画像の赤 (R)、緑 (G)、黒 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、および白 (W) レベルを調整します。
  - 色あい または R: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
  - 彩度 または G: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
  - ゲイン または B: 画像の明るさを調整します。
  - リセット: カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る:「カラーマッチング」メニューを終了します。
- **RGBゲイン/バイアス:** この設定でイメージの輝度（ゲイン）とコントラスト（バイアス）を構成できます。
  - リセット: RGB ゲイン/バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る:「RGBゲイン/バイアス」メニューを終了します。
- **カラースペース（HDMI 入力）**: 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します:「自動」、「RGB (0-255)」、「RGB (16-235)」、および「YUV」。

DynamicBlack

最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。

ブライトネスモード（ランプ土台ビデオ）

ランプ土台プロジェクター用のブライトネスモード設定を調整します。

- **ブライト**:「ブライト」を選択すると明るさが増します。
- **エコ**:「エコ」を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

ディスプレーの強化されたゲームメニュー

Enhanced Gaming

この機能を有効にすると、ゲーム中の応答時間（入力待ち時間）を 16 ミリ秒 * に短縮できます。

オンの時、アスペクト比/エッジマスク/ズーム/キーストンが使用できない。

注記: ** 1080p 60Hz 信号の場合のみ。*

プロジェクターを使用する

ディスプレーの 3D メニュー

3Dモード

このオプションを使って、3D 機能を無効にするか、適切な 3D 機能を選択します。

- **オフ**:「オフ」を選択すると、3D モードがオフになります。
- **DLPリンク**: 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **VESA**:「VESA」を選択して VESA 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。

3D->2D

このオプションを使って、画面に 3D コンテンツを表示する方法を指定します。

- **3D:** 3D 信号を表示します。
- **L（左）:** 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- **R（右）:** 3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイドバイサイド**:「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム**: 3D 信号を「トップアンドボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル**: 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。

3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

プロジェクターを使用する

アスペクト比メニューの表示

アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- **LBX**: 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- **Native**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記:

- *各アスペクトモードで 1080p の解像度で画像の周りに黒いバーが表示されるのは正常です。*
- *アスペクト比に応じて、黒いバーと境界線のサイズが変わります。*



注記:

- *LBX モードに関する詳細情報:*
  - *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。*
  - *外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この LBX モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ（アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む）を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。*
- *スーパーワイドフォーマットを使用するには、以下を行います:*
  - *a) 画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。*
  - *b) プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。*

プロジェクターを使用する

1080P スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4x3	1440x1080 にスケーリングします。				
16x9	1920x1080 にスケーリングします。				
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1080 画像を表示します。				
Native モード	- 1:1 中央にマッピング。 - スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。				
スーパーワイド	2534 x 1426（132% 拡大）に上げ、次に中央 1920x1080 画像を表示します 追記: エンドユーザーはこの形式を利用し、2.35:1 ソースの字幕なしを表示し、100% の 1080p DMD を実現できます。				

表示エッジマスクメニュー

エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

表示ズームメニュー

ズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。

表示画像シフトメニュー

映像移動調整

投影される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します

表示キーストンメニュー

キーストン

プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

オーディオミュートメニュー

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン:** 「オン」を選択すると消音が有効になります。
- **オフ:** 「オフ」を選択すると消音が無効になります。

注記:

- *「ミュート」機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*
- *外部スピーカーを接続すると、内部スピーカーは自動的にミュートされます。*

オーディオボリュームメニュー

音量

オーディオ音量レベルを調整します。

設定メニュー

投影設定メニュー

設置モード

正面、裏面、天井 - 上部、および裏面 - 上部からお好みの投影を選択します。

ランプ設定メニュー

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

フィルター設定メニュー

エアフィルター使用時間

エアマスク使用時間を表示します。

エアフィルター取付

警告メッセージを設定します。

- **はい:** 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。

注記: *「エアフィルター使用時間 / エアフィルター寿命 / エアフィルター使用時間リセット」は「エアフィルター取付」が「はい」の場合にのみ表示されます。*

- **いいえ:** 警告メッセージをオフにします。

プロジェクターを使用する

エアフィルター寿命

フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。利用可能なオプションには、オフ、300時間, 500時間、800時間、および 1000時間 があります。

エアフィルター使用時間リセット

ダスト エアマスクを交換または洗浄した後、ダスト エアマスク カウンタをリセットしてください。

電源設定メニュー

電源検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注記:

- *「信号検知オートパワーオン」オプションが「オン」に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。*
- *信号検知オートパワーオンは、VGA（RGB 信号）と HDMI をサポートします。*

タイマー電源オートパワーオフ

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます（単位は分です）。

スリープタイマー(分)

スリープタイマーを設定します。

- **スリープタイマー(分):** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます（単位は分です）。

  注記: *スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。*
- **常にON:** スリープタイマーが常にONに設定されていることを確認します。

クイックレジューム

クイックレジュームを設定します。

- **オン:** プロジェクターが偶発的にオフになってしまった場合、100 秒以内に選択すれば、この機能を介してプロジェクターの電源を直ちにオンにすることができます。
- **オフ:** プロジェクターをオフにすると、システムは 10 秒後に冷却を開始します。

USB給電

USB 電源を設定します。

- **オン:** プロジェクターの電力は常に USB 電源で供給されます。
- **オフ:** USB 電源機能がオフです。
- **自動:** プロジェクターの電力は自動的に USB 電源で供給されます。

プロジェクターを使用する

セキュリティ設定メニュー

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オン:**「オン」を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
- **オフ:**「オフ」を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

セキュリティタイマー

時間（月/日/時）機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

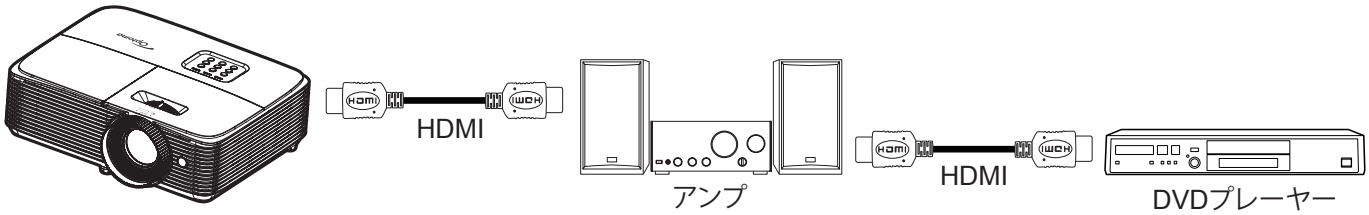
パスワード変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

HDMI Link 設定メニューの設定

注記:

- *HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSDで HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。*



HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。モニター連動、電源オンリンク、電源オフリンクオプションは設定が「オン」に設定されている場合のみ使用できます。

モニター連動

テレビとプロジェクターを同時に自動的にオフする場合は、「はい」に設定します。両方のデバイスが同時にオフにならないように、設定を「いいえ」にします。

電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオンになります。
- **プロジェクター->機器:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **機器->プロジェクター:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

この機能を有効にして、HDMI Link とプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

プロジェクターを使用する

テストパターンメニューの設定

テストパターン

テストパターンを緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白のグリッド、白から選択するか、または、この機能を無効 (オフ) にします。

リモート設定メニュー

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン:** 「オン」を選択すると、上部 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **オフ:** 「オフ」を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

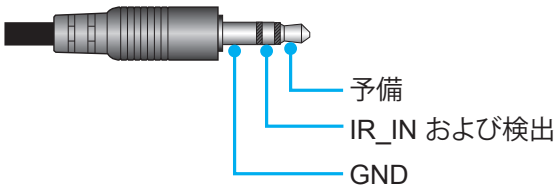
ユーザー1/ ユーザー2/ ユーザー3

ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3 の既定の機能を HDMI 2、テストパターン、輝度、コントラスト、スリープタイマー、カラーマッチング、色温度、ガンマ、設置モード、ランプ設定、ズーム、フリーズ、MHL から割り当てます。

12V トリガーメニューの設定

12Vトリガ

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。



- オフ: 「オフ」を選択するとトリガが無効になります。
- オン: 「オン」を選択するとトリガが有効になります。

オプション設定メニュー

言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ度、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語/デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語、およびスロバキア語から選択します。

メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- **メニュー位置**: スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- **メニュータイマー**: OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

オートソース

このオプション「オン」を設定し、プロジェクターキーパッドの ボタンか、リモコンの ボタンを押すと、次に入力可能な入力ソースが自動的に選択されます。「オフ」を設定すると、自動ソース機能が無効になります。

入力ソース

入力ソースとして HDMI1 または HDMI 2/MHL を選択します。

プロジェクターを使用する

入力名

簡単に特定できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションは、HDMI1 および HDMI 2/MHL です。

高地モード

「オン」が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

ディスプレーモードロック

「オン」または「オフ」を選択し、表示モード設定の調整をロックまたはロック解除します。

キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」である時、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

- **オフ:** 「オン」を選択すると、情報メッセージが非表示になります。
- **オン:** 「オフ」を選択すると、「検出中」メッセージが表示されます。

ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し:** ロゴは起動画面に表示されません。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

注記: *背景色が「なし」に設定されている場合、背景色は黒になります。*

リセットメニューの設定

OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

初期状態にリセット

設定メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

情報メニュー

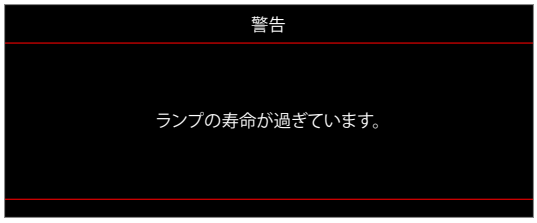
以下のプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- 入力源
- 解像度
- リフレッシュ レート
- ディスプレーモード
- ランプ使用時間
- フィルター時間
- ブライトネスモード
- FW バージョン

保守管理

ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づくと、画面に警告メッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。



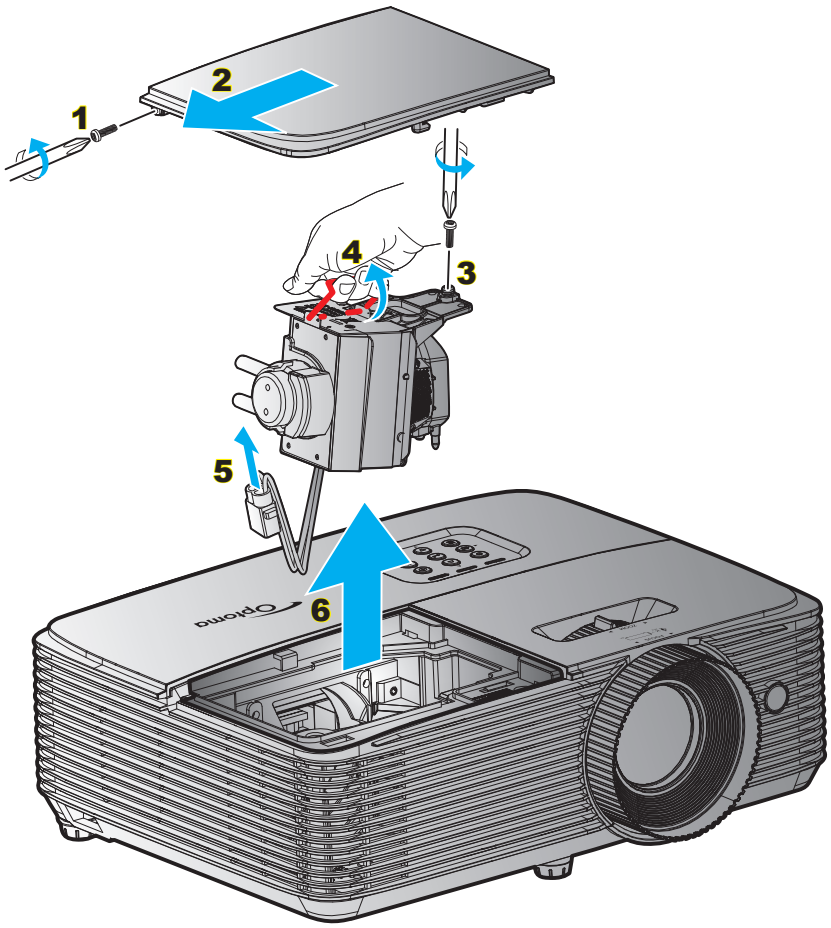
警告: 天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります。

警告: ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

保守管理

ランプの交換（続き）



手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある「⏻」ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーにあるネジをゆるめます。1
5. カバーを取り外します。2
6. ランプモジュールにあるネジをゆるめます。3
7. ランプハンドルを持ち上げます。4
8. ランプコードを取り外します。5
9. ランプモジュールを慎重に取り外します。6
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
11. プロジェクターの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
12. ランプリセット: (i)「メニュー」を押し → (ii)「設定」を選択し → (iii)「ランプ設定」を選択し → (iv)「ランプリセット」を選択し → (v)「はい」を選択します。

注記:

- *ランプ カバーとランプに付いたネジを外すことはできません。*
- *プロジェクターにランプ カバーが戻されなかった 場合、プロジェクターは動作しません。*
- *ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。*

追加情報

対応解像度

デジタル互換性

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 720 @ 60Hz	ネーティブタイミング:	640 x 480p @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz	XGA: 1024 x 768 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz	1280 x 720p @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1280 x1024 @ 60Hz	WXGA: 1280 x 800 @ 60Hz	1280 x 720p @ 60Hz	1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 72Hz	1400 x 1050 @ 60Hz	1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz	1920 x 1080i @ 60Hz	1920 x 1080i @ 50Hz
640 x 480 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		720(1440) x 480i @ 60Hz	1920 x 1080p @ 60Hz
800 x 600 @ 56Hz	1440 x 900 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 60Hz	
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 720 @ 120Hz		720 x 576p @ 50Hz	
800 x 600 @ 72Hz	1024 x 768 @ 120Hz		1280 x 720p @ 50Hz	
800 x 600 @ 75Hz			1920 x 1080i @ 50Hz	
832 x 624 @ 75Hz			720(1440) x 576i @ 50Hz	
1024 x 768 @ 60Hz			1920 x 1080p @ 50Hz	
1024 x 768 @ 70Hz			1920 x 1080p @ 24Hz	
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 30Hz	
1280 x 1024 @ 75Hz				
1152 x 870 @ 75Hz				

True 3D ビデオ互換性

<table>
<tr><td rowspan="17">入力解像度</td><td rowspan="9">HDMI 1.4a
3D 入力</td><td colspan="3">入力タイミング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド（ハーフ）</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド（ハーフ）</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080P @ 24Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080P @ 24Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td rowspan="8">HDMI 1.3</td><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">サイドバイサイド(ハーフ)</td><td rowspan="4">SBS モードがオン</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">最上部から底部まで</td><td rowspan="4">TAB モードがオン</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>480i 1024 x 768 @ 120Hz</td><td rowspan="2">HQFS</td><td rowspan="2">3D フォーマットが Frame Sequential</td></tr>
<tr><td>1280 x 720 @ 120Hz</td></tr>
</table>

注記:

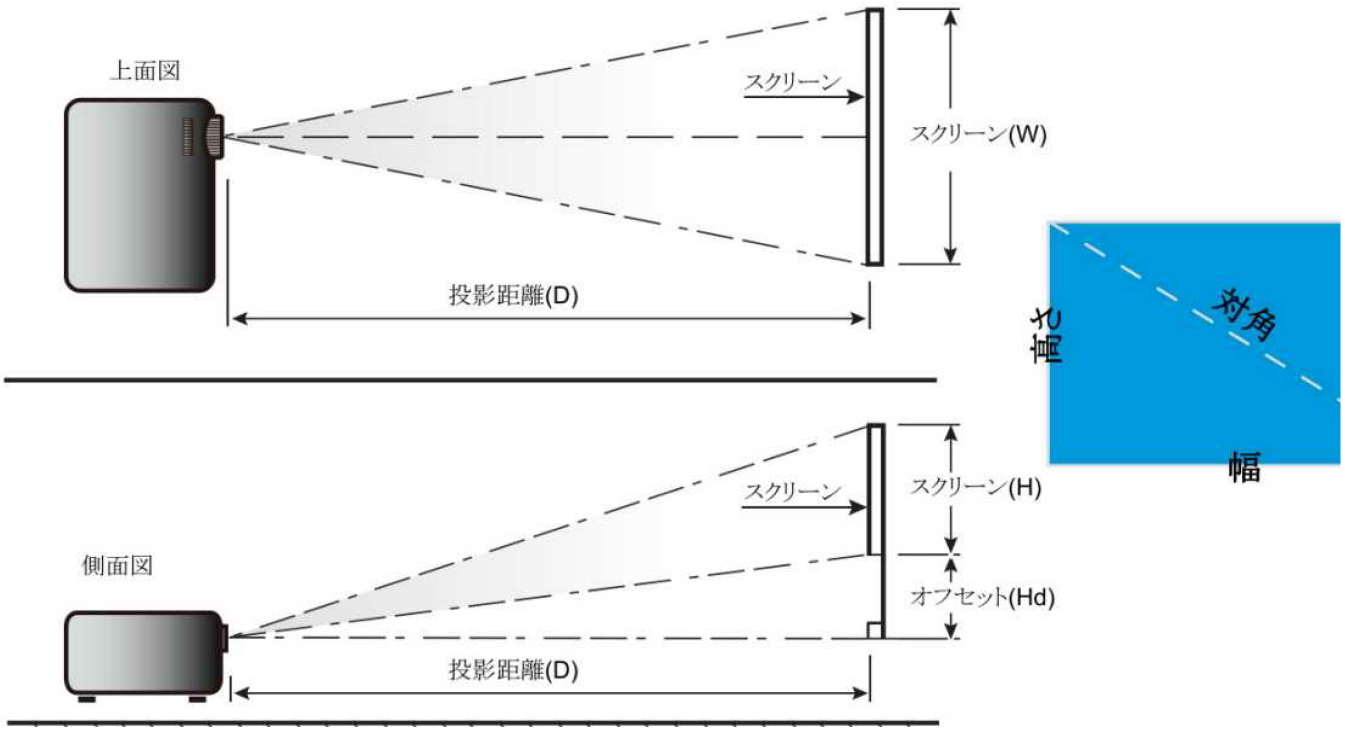
- *3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります。*
- *Optoma から特許料がない場合、NVIDIA 3DTV Play をサポートします。*
- *1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100Hz で動作し、1080p@24Hz は 144Hz で動作します。その他の 3D タイミングは 120Hz で動作します。*

追加情報

イメージサイズと投写距離表

画面サイズ HD(16:9)	イメージサイズ m		投写距離(D) m		オフセット (Hd) m
	幅(W)	高さ(H)	最短(ワイド)	最長(テレ)	
37	0.82	0.46	1.2	1.3	0.07
40	0.89	0.50	1.3	1.4	0.08
60	1.33	0.75	2.0	2.2	0.12
70	1.55	0.87	2.3	2.5	0.14
80	1.77	1.00	2.6	2.9	0.16
90	1.99	1.12	2.9	3.2	0.18
100	2.21	1.25	3.3	3.6	0.20
110	2.44	1.37	3.6	3.9	0.22
120	2.66	1.49	3.9	4.3	0.24
130	2.88	1.62	4.3	4.7	0.26
140	3.10	1.74	4.6	5.0	0.28
150	3.32	1.87	4.9	5.4	0.30
160	3.54	1.99	5.2	5.7	0.32
170	3.76	2.12	5.6	6.1	0.34
180	3.98	2.24	5.9	6.5	0.36
190	4.21	2.37	6.2	6.8	0.38
200	4.43	2.49	6.6	7.2	0.40
250	5.53	3.11	8.2	9.0	0.50
270	5.98	3.36	8.8	9.7	0.54
280	6.20	3.49	9.2	10.0	0.56
306	6.77	3.81	10.0	-	0.61

※アスペクトHD(16:9)映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。(許容誤差±5%)

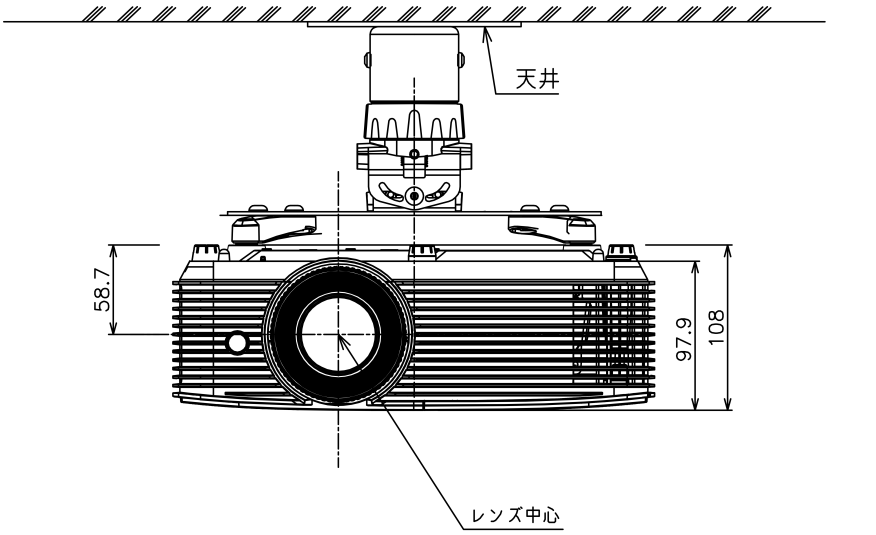


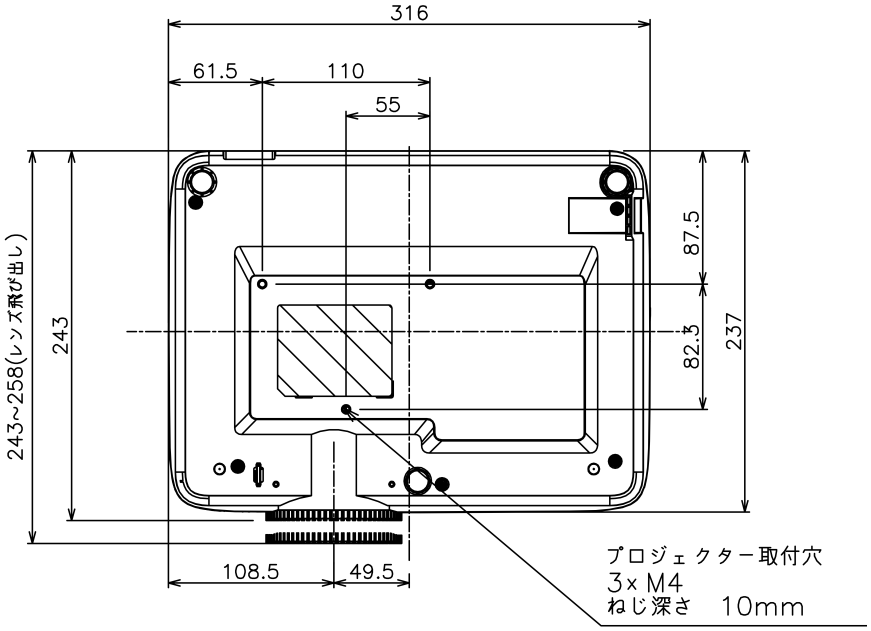
追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの故障を防ぐため、OS 製の天吊り金具をご使用ください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い:

- ネジの種類: M4*3
- 最小ネジ長: 10mm





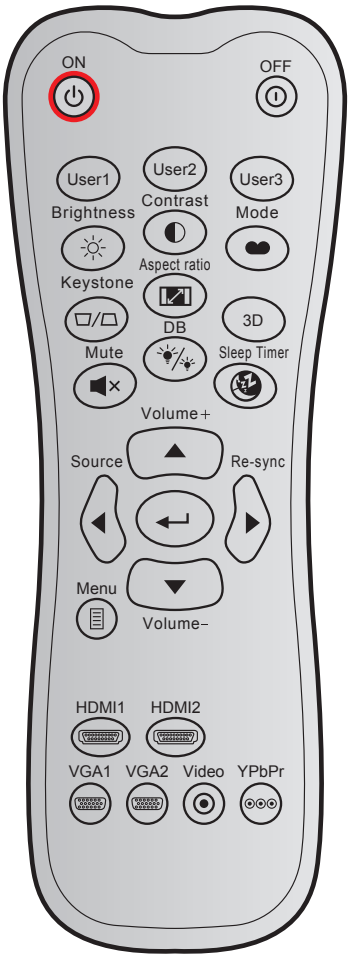
注記: *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した故障に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモートコード



キー		カスタムコード		データコード	印刷キーの定義	説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3		
電源オン	⏻	32	CD	02	オン	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
電源オフ	⏻	32	CD	2E	オフ	押すとプロジェクターの電源がオフになります。
ユーザー 1		32	CD	36	ユーザー1	ユーザー定義キー。設定については *37* ページをご参照ください。
ユーザー 2		32	CD	65	ユーザー2	
ユーザー 3		32	CD	66	ユーザー3	
輝度	☼	32	CD	41	輝度	画像の輝度を調整します。
コントラスト	◐	32	CD	42	コントラスト	映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
ディスプレーモード	▬	32	CD	05	モード	さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレーモードを選択してください。*29 ページを参照*してください。
キーストン	▱/▱	32	CD	07	キーストン	プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
アスペクト比	⛶	32	CD	64	アスペクト比	これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。
3D		32	CD	89	3D	3Dコンテンツに一致する3D モードを手動で選択します。

追加情報

キー		カスタムコード		データコード	印刷キーの定義	説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3		
音量 +		32	CD	09	音量 +	調整して、音量を上げます。
4 方向キー		32	CD	11	▲	▲、◄、►、▼ ボタンを使用して項目を選択したり、選択に合わせて調整を行います。
		32	CD	10	◄	
		32	CD	12	►	
		32	CD	14	▼	
入力源		32	CD	18	入力源	「Source」を押して入力信号を選択します。
Enter キー		32	CD	0F		選択した項目を確定します。
再同期		32	CD	04	再同期	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
音量 -		32	CD	0C	音量 -	調整して、音量を下げます。
メニュー		32	CD	0E	メニュー	プロジェクターのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
HDMI 1		32	CD	16	HDMI1	「HDMI1」を押して、HDMI 1 端子からソースを選択します。
HDMI 2		32	CD	30	HDMI2	「HDMI2」を押して HDMI 2 / MHL 端子からソースを選択します。
VGA 1		32	CD	1B	VGA1	機能なし
VGA 2		32	CD	1E	VGA2	機能なし
ビデオ		32	CD	1C	ビデオ	機能なし
YPbPr		32	CD	17	YPbPr	機能なし

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- ランプが確実に取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投射画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*44* ページを参照してください)。

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎる、または小さすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの「メニュー」を押し、「ディスプレー-->アスペクト比」に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 調整を行うには、OSDから「ディスプレー-->キーストン」を使用します。

画像が反転する

- OSDから「設定-->設置モード」を選択し、投射方向を調整します。

追加情報

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、「3D」ボタンを押して「オフ」にしてください。

2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 入力信号が HDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、「3D」ボタンを押して「サイドバイサイド」に切り替えてください。

3Dで画像が表示されません

- 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号が HDMI 1.3 2D（1080i サイドバイサイド）になっているとき、「3D」ボタンを押して「サイドバイサイド」に切り替えてください。

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」（*40* ～ *41* ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから ±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを 確認する。プロジェクターから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケータ

警告インジケータ（以下を参照）が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

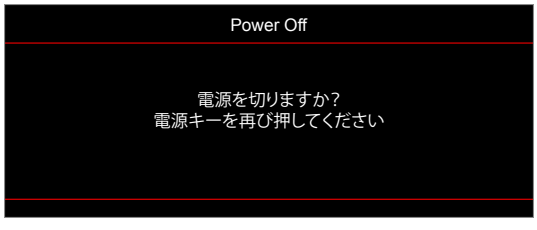
- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

LED 点灯メッセージ

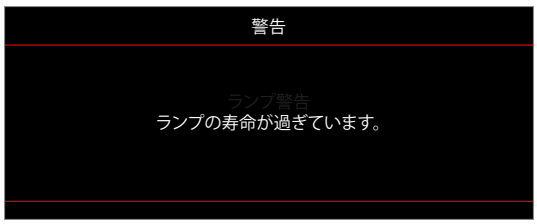
メッセージ	電源 LED	電源 LED	温度インジケータ LED	ランプ インジケータ LED
	（赤）	（緑または青）	（赤）	（赤）
スタンバイ状態（入力コード）	不動灯			
電源オン（ウォーミング）		点滅（0.5 秒オフ / 0.5 秒オン）		
ランプのライトをオンにします。		不動灯		
電源オフ（冷却）		点滅（0.5 秒オフ / 0.5 秒ライト）。冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。		
クイックレジューム（100 秒）		点滅（0.25 秒オフ / 0.25 秒オン）		
エラー（ランプトラブル）	点滅			不動灯
エラー（ファンが異常です）	点滅		点滅	
エラー（過熱）	点滅		不動灯	
スタンバイ状態（バーンインモード）	点滅（0.5 秒オフ / 0.5 秒オン）	点滅（0.5 秒オフ / 0.5 秒オン）	点滅（0.5 秒オフ / 0.5 秒オン）	点滅（0.5 秒オフ / 0.5 秒オン）
バーンイン（ウォーミング）		点滅		
バーンイン（冷却）		点滅		
電源オン（バーンインモード）		点滅（0.5 秒オフ / 0.5 秒オン）		

- 電源オフ:

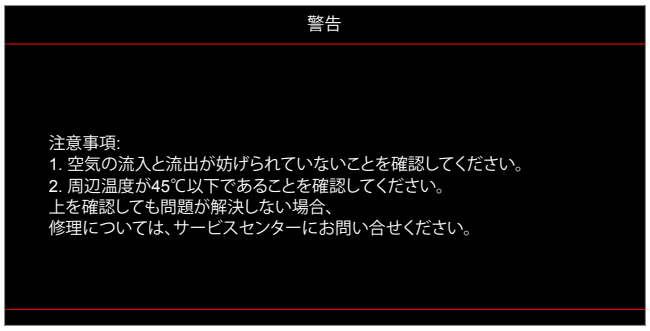


追加情報

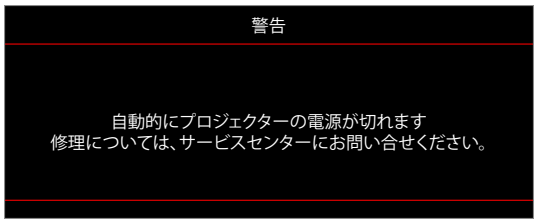
- ランプ警告:



- 温度警告:



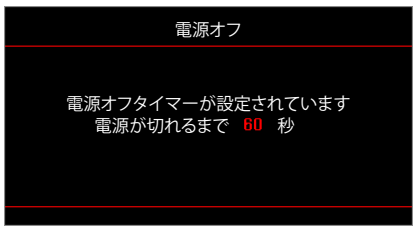
- ファンのトラブル:



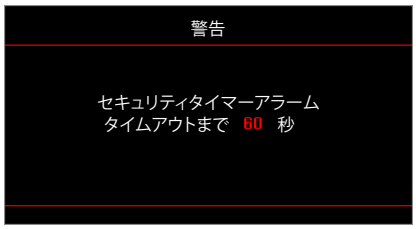
- 表示範囲外:



- 電源ダウン警告:



- セキュリティタイマーアラーム:



追加情報

仕様

光学	説明
ネイティブ解像度	1080p
レンズ	手動ズームと手動フォーカス
イメージサイズ（対角）	28″ ～ 301″
投射距離	1m ～ 10m（フォーカス範囲）

電気	説明
入力	- HDMI 1.4b - HDCP 1.4
色再現	10 億 7340 万色
スキャン速度	- 水平スキャン速度: 15.375 ～ 91.146 KHz - 垂直スキャン速度: 50 ～ 85 Hz（3D 機能プロジェクターの場合 120Hz）
内蔵スピーカー	10W
電力要件	100 - 240V AC 50/60Hz
最大入力	3.3A

機械	説明
取り付け方向	フロント、リア、天井 - 上部、リア - 上部
寸法	- 316 mm（幅）x 243 mm（奥行）x 106 mm（高さ）（フットを除く） - 316 mm（幅）x 243 mm（奥行）x 108.5 mm（高さ）（フットを含む）
重さ	2.9kg
環境条件	5 ～ 40°C、10% ～ 85%（結露なし）

注記: *仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。*

保　証　書

型　　式	ＨＤ２７ｅ		
シリアル番号			
ご　購　入　日	年　　月　　日	保証期間	ご購入日から1年間

★お客様	ご住所	
	お名前	様　ＴＥＬ　　（　　）
★販売店	住　所 店　名	ＴＥＬ　　（　　）　　印　またはサイン

ご販売店様へ　　上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記入されているかお確かめください。
万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。

※故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担となります。

1.保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1) この保証書のご提示がない場合。
(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お販売店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5) 火災や天災等による故障および損傷。
(6) 消耗品および付属品の交換の場合。

2.その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

3.ランプの保証期間について
ランプの保証は購入日または交換日より6ヶ月以内もしくはご使用時間が1000時間までのいずれか早く到達した時点までとなります。

3.この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Eftective only Japan.

4.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記コンタクトセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

販売元　株式会社オーエスエム
コンタクトセンター
〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-25-18
TEL：0120-380-495 FAX：0120-380-496
(受付時間：平日9：00～18：00 ※土日祝日を除く)
E-mail : info@os-worldwide.com
※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。
TEL：03-3629-5211 FAX:03-3629-5214